

日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院

病院長名	佐藤 公治
	〒466-8650
所在地	愛知県名古屋市昭和区妙見町2番地の9
交通案内	地下鉄：名城線八事日赤駅下車 2番出口すぐ バス：市バス妙見町行 八事日赤病院停下車

□ 病院の特徴

当院は、歴代院長が首尾一貫した方針で病院の進むべき方向性を定め、歴史と伝統である救急医療、高度医療、災害救護と国際救援、周産期医療、医療連携、研修医教育などを推進することによって現在の病院にまで発展してきました。

特に“研修医は病院発展の原動力”との考えのもと、研修医教育には重点を置き、専攻医、研修医教育指導体制の充実を図ってきました。

□ 研修プログラムの特徴

本プログラムでは、救急科領域研修カリキュラムに沿って、経験すべき疾患、病態、検査・診療手順、手術、手技を経験するため、基幹研修施設と複数の連携研修施設での研修を組み合わせています。

基幹領域専門医として救急科専門医取得後には、サブスペシャルティ領域である集中治療専門医、感染症専門医、熱傷専門医、外傷専門医、脳卒中専門医、消化器内視鏡専門医、日本脳神経血管内治療学会専門医の研修プログラムに進み、救急科関連領域の医療技術向上および専門医取得を目指す臨床研修、あるいはリサーチマインドの醸成および医学博士号取得を目指す研究活動も選択が可能です。

■ 研修コース（例）

基幹研修施設（救急外来診療・集中治療 MC・災害医療）、救命救急センター（救急外来診療・集中治療 手術・入院診療など

専門研修 2 年目

基幹研修施設（救急外来診療・集中治療 MC・災害医療）、二次救急医療施設（救急外来診療・集中治療）

専門研修 3 年目

基幹研修施設（救急外来診療・集中治療 MC・災害医療）、救命救急（熱傷）センター（救急外来診療・集中治療 手術等（熱傷など））



□ 主な連携施設

JCHO 中京病院救急科、あいち小児保健医療総合センター救急科、名古屋市立大学医学部附属東部医療センター救急科、公立西知多総合病院救急科、長岡赤十字病院救急科、藤田医科大学病院 GICU、岐阜大学病院高次救命治療センター、福井大学医学部付属病院救急部・総合診療部、愛知医科大学病院救命救急科

□ メッセージ

救命救急センター長・救急科部長・救急 PG 責任者/救急科 稲田 眞治

「最前線で体を張り、多くの人の命を救う」
「全病院を挙げて救急外来診療に取り組み、できるだけ多くの救急患者さんを受け入れよう」病院の掲げる方針に基づき、私たちは日々現場で多くの命と向き合っています。受け入れる救急車の台数は年間で延べ1万台を超え、3万人以上の患者さんが受診されます。その数は全国でも10指に入るほど（令和4年は全国第6位、愛知県第2位）。症例数は圧倒的に多く、病気やけがなどさまざまな種類の症状を診ることができるので、若いドクターにとって得難い経験となるでしょう。

指導体制が手厚いのも当院の特徴です。在籍する8人の専従医のうち6人が日本救急医学会の専門医（うち指導医2名）と県内随一の厚い指導層を誇り、豊富な経験に基づく適格な指導を行います。特に伝えたいと考えているのがハートの部分。テクニックを磨くだけでなく、患者さんやその家族に細かい配慮のできるような、社会性の高いドクターを育てていきたいと考えます。専攻医のプログラムでは、希望に応じ、小児救急、重症熱傷やドクターヘリ研修など、幅広く学べる内容となっています。また、当院は地域災害拠点病院となっているため、災害医療に携わることも可能です。命を守るために最前線で治療にあたる救急科は、まさに医療の原点となる場所。あなたのドクターとしての力を伸ばしてみませんか。



□ 募集要項

・採用予定人数	2 人
・給与／月額	3 年目 平均約 750,000 円／月
・当直回数／月	診療科によって異なる
・応募連絡先	担当者 教育研修管理課 電話番号 052-832-1121 Eメール education@nagoya2.jrc.or.jp